

NSG

GROUP

NSG グループ

2021年3月期第3四半期決算報告

(2020年4月1日～ 2020年12月31日)

日本板硝子株式会社
2021年2月4日

森 重樹

代表執行役社長兼CEO

楠瀬 玲子

執行役常務 CFO

イアン・スミス

執行役 グループファイナンス担当ディレクター

目次

1. 2021年3月期第3四半期 決算概要
2. 2021年3月期業績予想
3. 事業構造改革の進捗
4. まとめ

連結損益計算書

累計ではCOVID-19影響で減収減益だが、Q3はさらに改善が進み、前年同期を上回る営業利益、当期利益を計上

(億円)	10-12月期 (3ヶ月)			4-12月期累計 (9ヶ月)		
	2020年 3月期	2021年 3月期	増減	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
売上高	1,372	1,359	△13	4,258	3,574	△684
営業利益	31	48	17	180	80	△100
営業利益率	2.3%	3.5%		4.2%	2.2%	
個別開示項目(COVID-19関連)	—	△12		—	△140	
COVID-19関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	31	36	5	180	△60	△240
個別開示項目(その他)	△22	10	32	△44	2	46
金融費用(純額)	△32	△21	11	△95	△75	20
持分法による投資損益	4	10	6	12	8	△4
税引前利益 (△損失)	△19	35	54	53	△125	△178
当期利益 (△損失)	△5	37	42	19	△135	△154
親会社所有者に帰属する当期利益 (△損失)	△7	34	41	12	△139	△151
EBITDA	115	135	20	432	323	△109

累計でも営業黒字

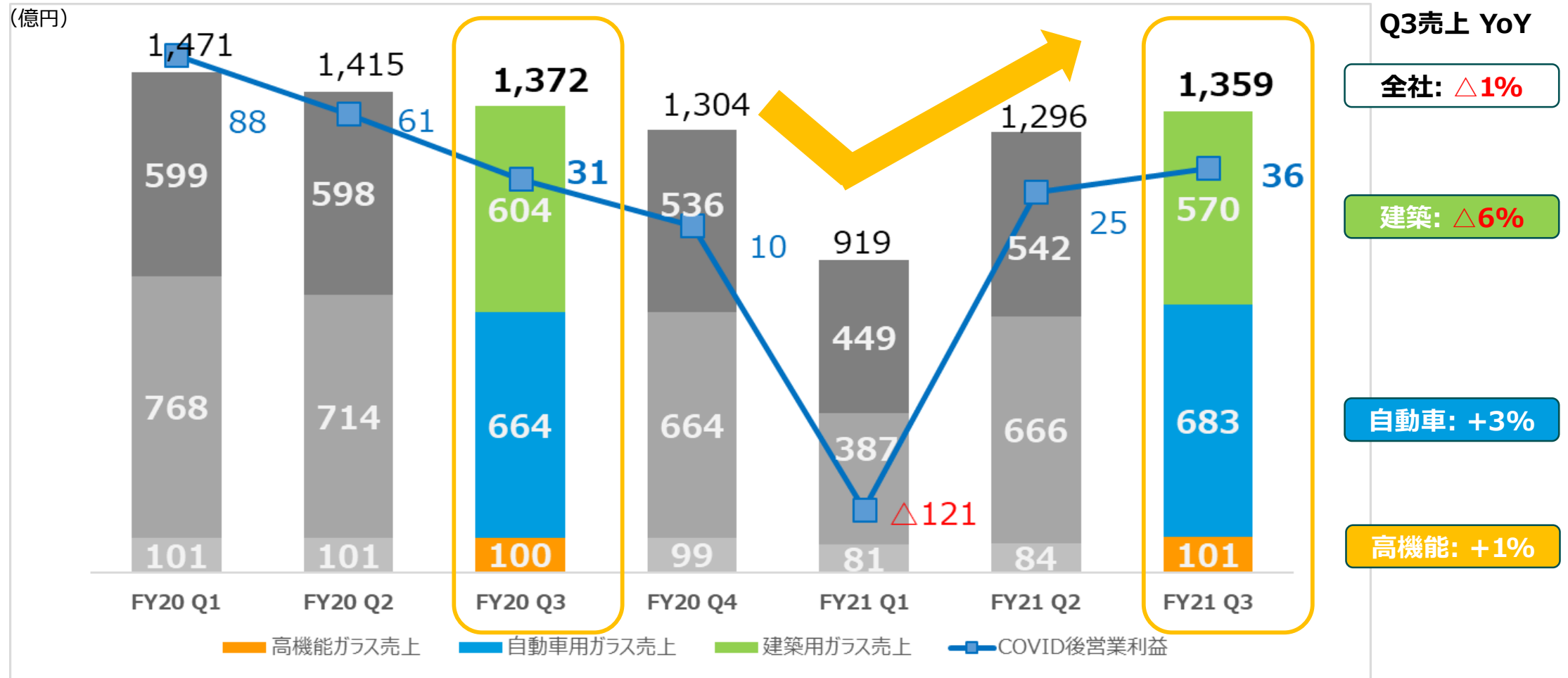
COVID後
営業黒字かつ
前年比プラス

最終利益も
黒字回復

事業別売上高およびCOVID後営業利益推移

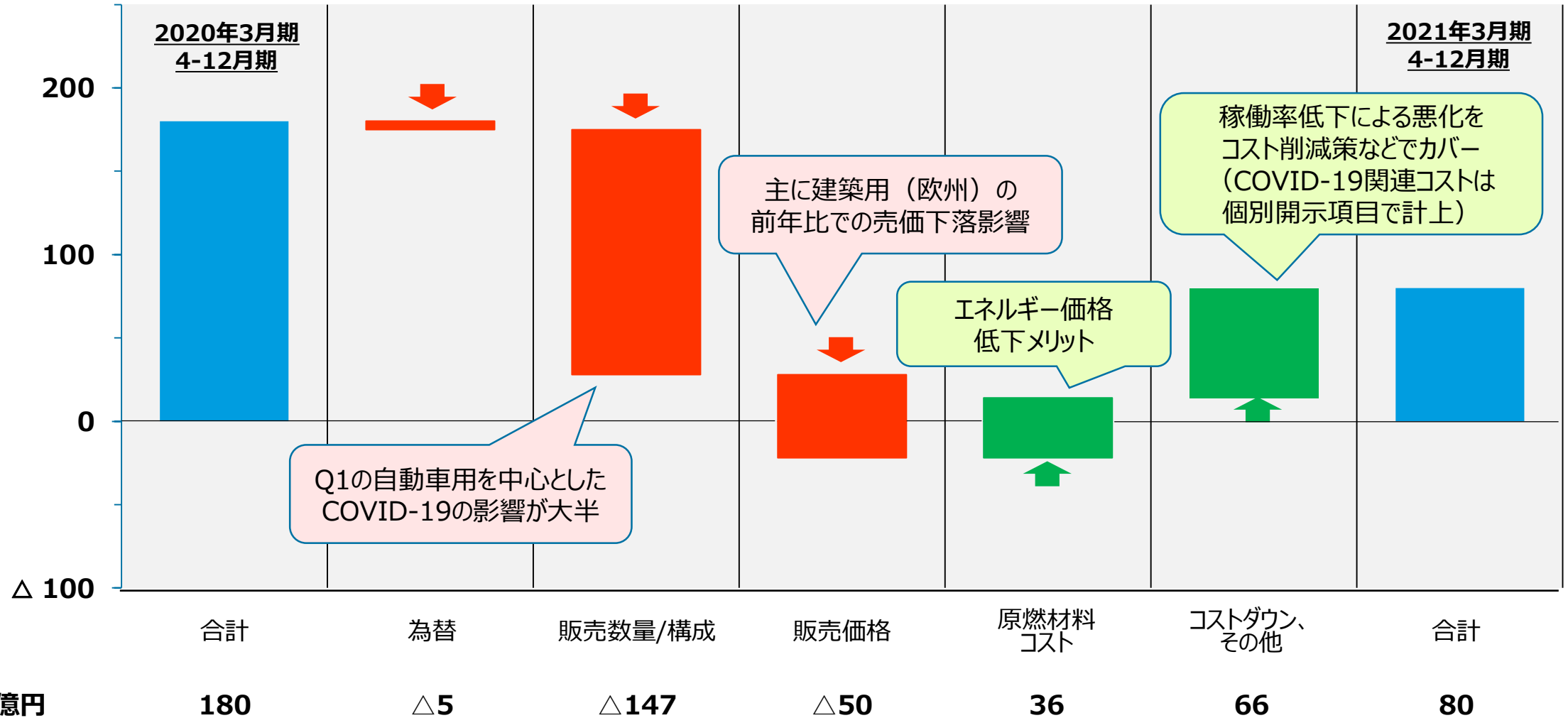
需要回復とコストダウン努力によりQ2以降回復基調

Q3は自動車用ガラスが売上回復をけん引し、COVID後営業利益で前年比プラス



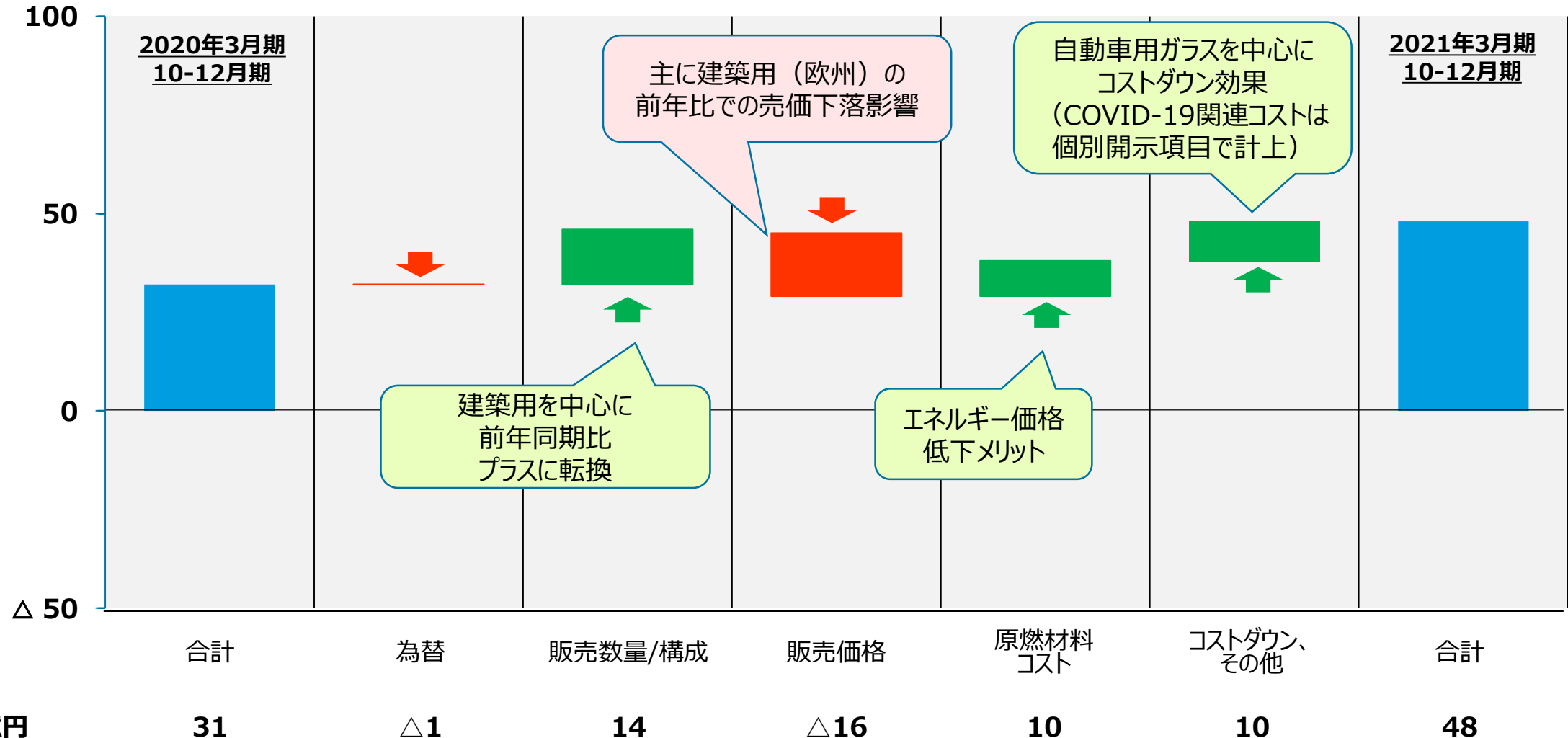
営業利益差異分析 (無形資産償却後 4-12月期累計)

累計ではCOVID-19によるQ1の急激な数量減の影響を受ける



営業利益差異分析 (無形資産償却後 10-12月期)

販売数量増、コストダウンにより、営業利益は前年同期比プラスに転じる



個別開示項目

Q3は早期退職引当計上的一方、ブラジルで売上税に関連する係争解決で一過性の益があり、
ネットで△2億円

(億円)	2020年3月期	2021年3月期		
	4-12月期累計 (9ヶ月)	10-12月期 (3ヶ月)	4-12月期累計 (9ヶ月)	
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連*	—	△12	△140	← Q1計上△115億円
政府支援による収益	—	2	23	
設備休止等に係る費用	—	△14	△163	
その他	△44	10	2	
係争案件の解決に係る収益	—	34	34	← ブラジル連結子会社の納付済売上税に対する異議申立の結果
係争案件の解決に係る費用	△2	△1	△3	
有形固定資産等の減損損失及び減損損失戻入益	△1	8	8	
子会社及びジョイント・ベンチャーの売却による利益	10	0	7	
リストラクチャリング費用	△38	△29	△40	← 日本の早期退職者優遇措置に基づく引当22億円を含む
設備休止に係る費用	△13	0	△2	
退職給付に係る負債の過去勤務費用	—	△2	△2	
純額	△44	△2	△138	← Q3純額△2億円

* 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のまん延により影響を受ける直接費と回収不能な事業運営コスト、及びそれに関連して政府により支給される補助金を個別開示項目として計上。これらにはCOVID-19により生産活動に従事できない従業員への給与支払や休止設備の維持費用、施設の安全な作業環境整備のために生じた清掃費用などの直接費用を含む。

連結貸借対照表

9月末対比で自己資本が改善

(億円)	2020年 3月末	2020年 9月末	2020年 12月末	3月末増減	9月末増減
資産合計	7,652	7,576	7,780	128	204
非流動資産	5,411	5,447	5,611	200	164
流動資産	2,241	2,129	2,169	△72	40
負債合計	6,770	6,934	7,014	244	80
流動負債	2,004	2,224	2,327	323	103
非流動負債	4,766	4,710	4,687	△79	△23
資本合計	882	642	766	△116	124
親会社の所有者に帰属する 持分	736	488	613	△123	125
自己資本比率 (%)	9.6%	6.4%	7.9%	△1.7%	1.5%
ネット借入	3,902	4,280	4,267	365	△13
ネット借入/EBITDA	7.1x	10.2x	9.6x		
ネット借入/純資産比率	4.4x	6.7x	5.6x		

Q3当期利益と為替影響
等により9月末より改善

連結キャッシュ・フロー計算書

損益の改善、キャッシュ節減活動が奏功し、Q3のフリー・キャッシュ・フローも大幅にプラス

(億円)	10-12月期 (3ヶ月)			4-12月期累計 (9ヶ月)		
	2020年 3月期	2021年 3月期	増減	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△60	125	185	△46	47	93
(うち、運転資本の増減)	△96	20	116	△231	△46	185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△145	△69	76	△447	△333	114
(うち、有形固定資産の取得)	△139	△78	61	△450	△305	145
フリー・キャッシュ・フロー	△205	56	261	△493	△286	207
財務活動によるキャッシュ・フロー	178	△26	△204	412	283	△129
現金及び現金同等物の増減	△27	30	57	△81	△3	78
現金及び現金同等物 期末残高				427	413	△14

運転資本改善プロジェクトにより3Q及び累計でも営業キャッシュ・フローが好転

戦略投資以外は削減継続

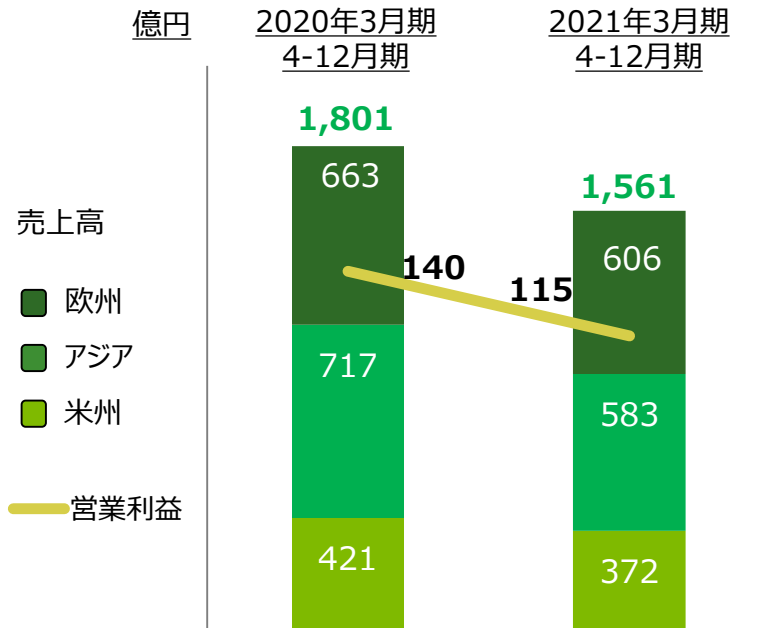
Q2に引き続き、Q3でもプラスに

セグメント情報

(億円)	2020年3月期 4-12月期			2021年3月期 4-12月期			増減	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
建築用ガラス事業	1,801	43%	140	1,561	44%	115	△240	△25
欧州	663	16%		606	17%		△57	
アジア	717	17%		583	16%		△134	
米州	421	10%		372	11%		△49	
自動車用ガラス事業	2,146	50%	53	1,736	49%	△11	△410	△64
欧州	907	21%		721	20%		△186	
アジア	511	12%		434	12%		△77	
米州	728	17%		581	17%		△147	
高機能ガラス事業	302	7%	54	266	7%	45	△36	△9
欧州	51	1%		46	1%		△5	
アジア	240	6%		212	6%		△28	
米州	11	0%		8	0%		△3	
その他	9	0%	△67	11	0%	△69	2	△2
合計	4,258	100%	180	3,574	100%	80	△684	△100

建築用ガラス事業 2020年3月期第3四半期との比較

Q1の需要減の影響を受け、累計では減収減益だが、Q3はQ2に引き続き欧州、南米を中心に需要回復。コストダウン効果も業績回復に寄与



欧州 (累計: 減収・減益 Q3: 増収・増益)

- 販売数量、価格は需要の回復に合わせ、Q2以降さらに改善
- 操業安定化とコスト削減により、収益性も改善

アジア (累計: 減収・増益 Q3: 減収・増益)

- 千葉、マレーシアのフロート窯休止に伴い減収だが固定費削減効果等により利益は改善
- 太陽電池パネル用ガラスの出荷はCOVID-19影響をほぼ受けず堅調

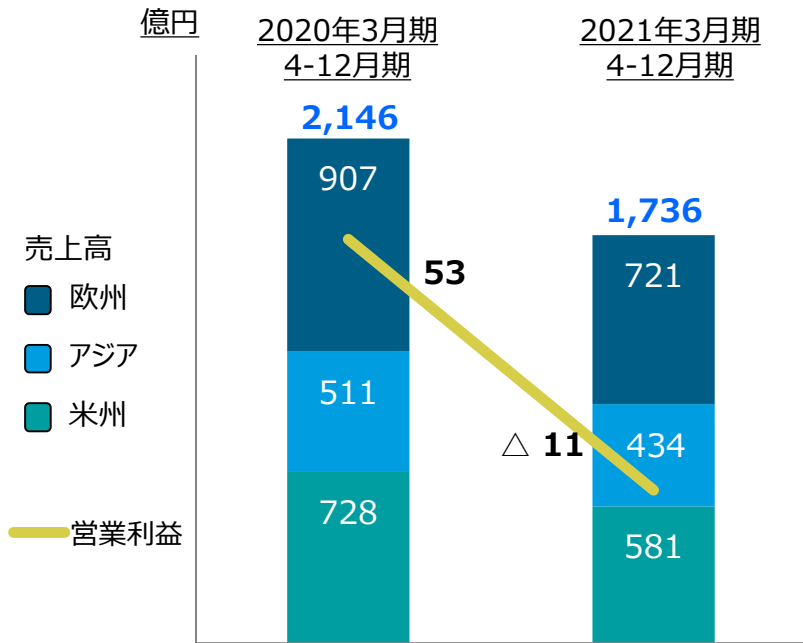
米州 (累計: 減収・減益 Q3: 減収・減益)

- 北米は域内の商業ビル向けは低調ながら、太陽電池パネル用ガラスの出荷は堅調。
新フロート窯（オハイオ州ラッキー）が11月9日に操業開始
- 南米は好調な需要を受け、Q2以降の売上は前年並みに回復

	10-12月期(3ヶ月)			4-12月期累計(9ヶ月)		
	2020年 3月期	2021年 3月期	増減	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
売上高	604	570	△34	1,801	1,561	△240
欧州	210	224	14	663	606	△57
アジア	247	205	△42	717	583	△134
米州	147	141	△6	421	372	△49
営業利益	42	42	0	140	115	△25

自動車用ガラス事業 2020年3月期第3四半期との比較

累計では減収減益だが、6月以降は徐々に需要が回復し、Q3は前年同期比で増収増益に転換



欧州 (累計: 減収・減益 Q3: 増収・減益)

- カーメーカーの生産再開後は徐々に生産量が増加

アジア (累計: 減収・減益 Q3: 増収・増益)

- Q2以降は生産台数の回復で操業度が改善

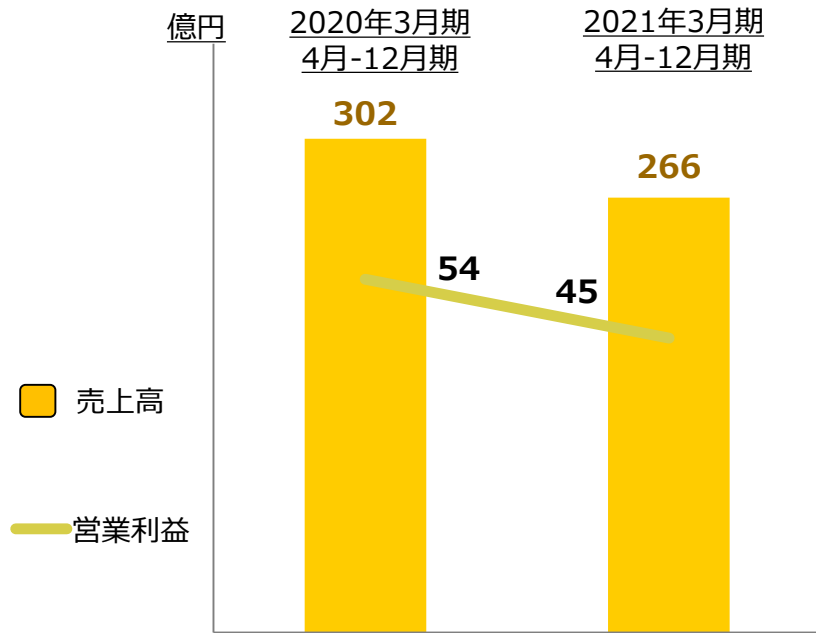
米州 (累計: 減収・減益 Q3: 減収・増益)

- 北米はQ2以降、需要回復・コスト改善で前年比プラスの水準
- 南米も低水準だが、回復基調

	10-12月期(3ヶ月)			4-12月期累計(9ヶ月)		
	2020年3月期	2021年3月期	増減	2020年3月期	2021年3月期	増減
売上高	664	683	19	2,146	1,736	△410
欧州	278	288	10	907	721	△186
アジア	165	176	11	511	434	△77
米州	221	219	△2	728	581	△147
営業利益	1	13	12	53	△11	△64

高機能ガラス事業 2020年3月期第3四半期との比較

累計ではCOVID-19影響を受けるも、Q3は前年レベルに回復



高機能ガラス事業 (累計: 減収・減益 Q3: 増収・増益)

- ファインガラスは、COVID-19影響による影響は限定的
- プリンター用レンズは、在宅勤務需要を受けて数量増
- グラスコードは欧州自動車市場の影響を受けるも、四半期末にかけて需要が回復
- バッテリーセパレーターの業績は安定的に推移

	10-12月期(3ヶ月)			4-12月期累計(9ヶ月)		
	2020年 3月期	2021年 3月期	増減	2020年 3月期	2021年 3月期	増減
売上高	100	101	1	302	266	△36
営業利益	19	20	1	54	45	△9

2021年3月期業績予想の前提

グループ	<ul style="list-style-type: none"> 通期売上高、営業利益を再度上方修正。需要のさらなる回復や全社コストダウン活動の進捗により、上方修正した前回予想を上回って推移したQ3実績を織り込み Q4の需要は、全体として前年並み水準への回復を想定するも、新型コロナウイルス感染の再拡大などによって製品需要が鈍化する可能性あり
建築用ガラス	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動の正常化に合わせ、安定的な需要回復を想定 太陽電池パネル用ガラスは引き続き需要堅調だが、北米新窯稼働により立上げコスト発生の見込み
自動車用ガラス	<ul style="list-style-type: none"> 各地での自動車販売動向に沿った堅調な回復を織り込むが、新型コロナウイルス感染の再拡大や半導体不足問題が自動車生産に影響する可能性あり
高機能ガラス	<ul style="list-style-type: none"> 概ね前年並みのレベルに回帰

前期比売上高想定

	前回Q3予想	Q3実績	前回Q4想定	今回Q4想定	前回通期想定	最新通期想定
建築用	-	△6%	-	全事業 前年比 若干プラス	△10%	全事業 前回予想より 1-2pt改善
自動車用		+3%			△15%	
高機能		+1%			△10%	
グループ	△5%	△1%	0%	3%	△15%	△12%

連結業績予想

Q3実績等を反映し売上高・営業利益を上方修正。当期損益予想はQ4の個別開示項目が明らかになった段階で改めて開示。資産売却等により、今後発生する構造改革関連費用の影響を軽減する方針

(億円)	2021年3月期				2020年3月期	
	Q3 4-12月期 累計実績	Q4 1-3月期 予想	通期予想 (今回)	通期予想 (前回)	Q4 1-3月期 実績	通期実績
売上高	3,574	1,330	4,900	4,800	1,304	5,562
営業利益／(△損失)	80	40	120	90	32	212
COVID関連個別開示項目後 営業利益／(△損失)	△60	40	△20	△70	10	190
個別開示項目(その他)	2	-	-	-	△174	△218
金融費用(純額)	△75	-	-	-	△23	△118
持分法による投資損益	8	-	-	-	△1	11
税引前利益／(△損失)	△125	-	-	-	△188	△135
当期利益／(△損失)	△135	-	-	-	△194	△175
親会社の所有者に帰属する 当期利益／(△損失)	△139	-	-	-	△201	△189

事業構造改革の進捗

聖域なき改革を実行し、2022年3月期の黒字転換を目指す

緊急コスト削減プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画通り進捗。Q3累計で前年対比約200億円の削減を達成
手元流動性	<ul style="list-style-type: none"> ● 投資削減・運転資本の厳格管理継続しキャッシュ・フロー改善 ● 12月末現預金残465億円、未使用融資枠残844億円。9月末水準よりも改善
コスト構造改革 2022年3月期に3桁億円の コスト改善効果を創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 人員削減： 計画通り、世界各地において合計2,000人規模の人員削減を推進中 日本含め各地域で早期退職者優遇措置や退職者の非補充で削減進捗 ● 固定費の大幅削減、生産・購買コスト削減： 原燃材料費、物流費、外注費、賃借料など全社的な見直し・削減を計画・実行中
資産・事業売却検討	<ul style="list-style-type: none"> ● Q4に向けて引き続き推進中 資金・利益創出により、今後発生する構造改革関連費用の影響を可能な限り軽減する方針

まとめ

1. 第3四半期決算

- Q1に新型コロナウイルス（COVID-19）による需要急減の影響を受け、累計では減収減益
- Q3（10-12月）は、自動車用ガラス事業が改善をけん引し、売上高がほぼ前年並（△1%）に回復。コスト削減効果もあり営業利益は前年比増益（+17億円、+52%）、親会社所有者に帰属する当期利益も黒字転換
- 太陽電池パネル用ガラスの出荷は引き続き堅調。北米新窯が11月に稼働
- 損益の改善とキャッシュ節減活動が奏功し、Q3のフリー・キャッシュ・フローはプラス
- 自己資本は9月末対比で改善

2. 通期業績予想

- Q3の実績を踏まえ、前回上方修正した売上・営業利益予想を再修正
- Q4は全体としては前年並み水準への回復を想定。ただし新型コロナウイルス感染の再拡大によって自動車生産が鈍化する可能性
- 通期の最終損益予想は、Q4の個別開示項目が明らかになった段階で改めて開示

3. 事業構造改革の進捗

- 聖域なき改革を実行し、2022年3月期の黒字転換を目指す
- 人員削減、固定費の大幅削減、生産・購買コスト削減は、計画立案・実行中
- 資産・事業売却検討も推進。資金・利益創出により、構造改革関連費用の影響を軽減する方針

ご注意

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 連結損益計算書（四半期別）
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- 四半期別セグメント情報
- 地域別業績
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費

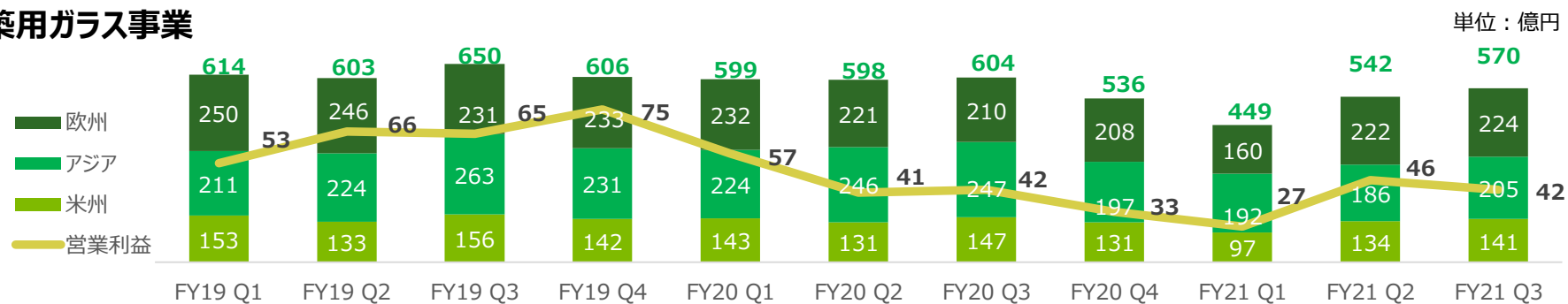
連結損益計算書

四半期別推移

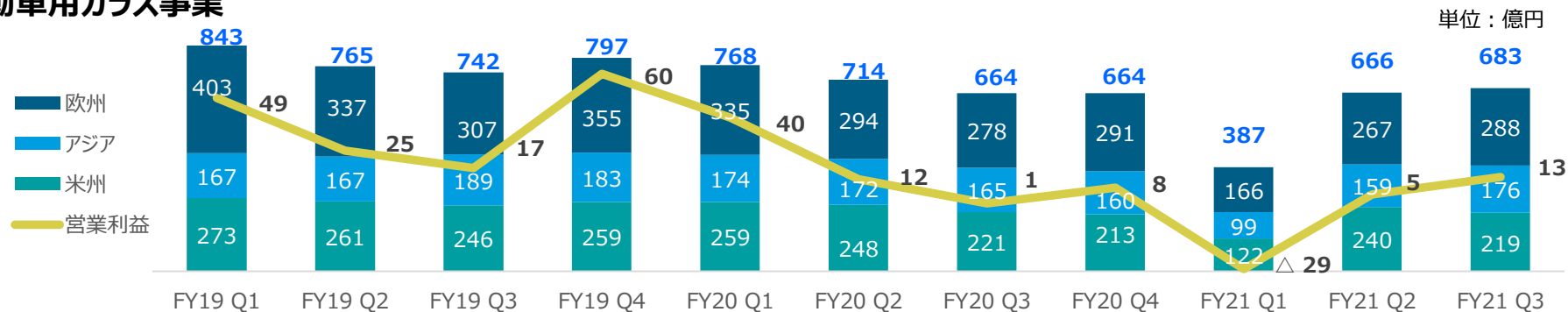
(億円)	2020年3月期				2021年3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
売上高	1,471	1,415	1,372	1,304	919	1,296	1,359
営業利益(△損失)	88	61	31	32	△6	38	48
営業利益率	6.0%	4.3%	2.3%	2.5%	—	2.9%	3.5%
個別開示項目(COVID-19関連)	—	—	—	△22	△115	△13	△ 12
COVID-19関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	88	61	31	10	△121	25	36
個別開示項目(その他)	△6	△16	△22	△174	—	△8	10
金融費用(純額)	△35	△28	△32	△23	△24	△30	△ 21
持分法による投資損益	5	3	4	△1	△4	2	10
税引前利益 (△損失)	52	20	△19	△188	△149	△11	35
当期利益 (△損失)	31	△7	△5	△194	△165	△7	37
親会社所有者に帰属する当期利益 (△損失)	29	△10	△7	△201	△164	△9	34
EBITDA	175	142	115	118	61	127	135

事業部門別・地域別売上高及び営業利益 四半期別推移

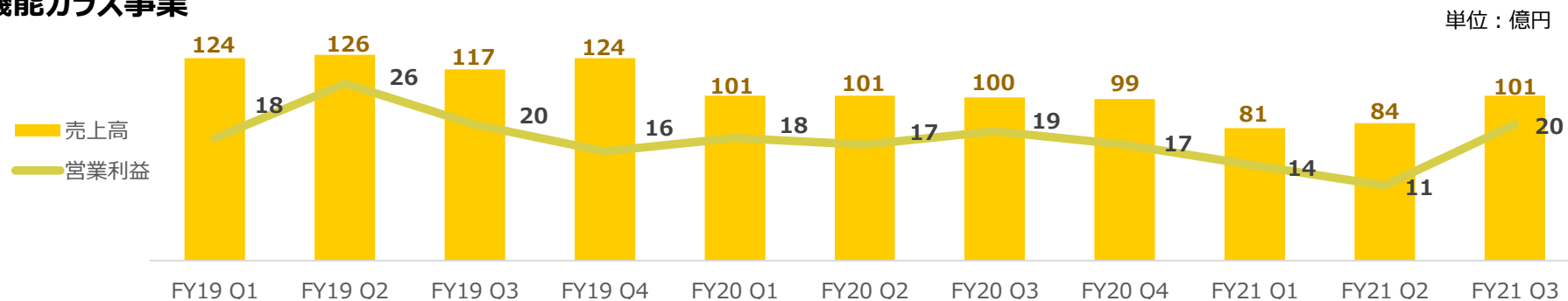
建築用ガラス事業



自動車用ガラス事業



高機能ガラス事業



セグメント情報（売上高、営業利益）

(億円)	2020年3月期				2021年3月期				増減			
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	累計
売上高: 建築用ガラス	599	598	604	1,801	449	542	570	1,561	△ 150	△ 56	△ 34	△ 240
欧州	232	221	210	663	160	222	224	606	△ 72	1	14	△ 57
アジア	224	246	247	717	192	186	205	583	△ 32	△ 60	△ 42	△ 134
米州	143	131	147	421	97	134	141	372	△ 46	3	△ 6	△ 49
営業利益	57	41	42	140	27	46	42	115	△ 30	5	0	△ 25
売上高: 自動車用ガラス	768	714	664	2,146	387	666	683	1,736	△ 381	△ 48	19	△ 410
欧州	335	294	278	907	166	267	288	721	△ 169	△ 27	10	△ 186
アジア	174	172	165	511	99	159	176	434	△ 75	△ 13	11	△ 77
米州	259	248	221	728	122	240	219	581	△ 137	△ 8	△ 2	△ 147
営業利益	40	12	1	53	△ 29	5	13	△ 11	△ 69	△ 7	12	△ 64
売上高: 高機能ガラス	101	101	100	302	81	84	101	266	△ 20	△ 17	1	△ 36
欧州	17	18	16	51	13	14	19	46	△ 4	△ 4	3	△ 5
アジア	80	79	81	240	65	68	79	212	△ 15	△ 11	△ 2	△ 28
米州	4	4	3	11	3	2	3	8	△ 1	△ 2	0	△ 3
営業利益	18	17	19	54	14	11	20	45	△ 4	△ 6	1	△ 9
売上高: その他	3	2	4	9	2	4	5	11	△ 1	2	1	2
営業利益	△ 27	△ 9	△ 31	△ 67	△ 18	△ 24	△ 27	△ 69	9	△ 15	4	△ 2
売上高: 合計	1,471	1,415	1,372	4,258	919	1,296	1,359	3,574	△ 552	△ 119	△ 13	△ 684
営業利益	88	61	31	180	△ 6	38	48	80	△ 94	△ 23	17	△ 100

地域別売上高及び営業利益

(億円)	2020年3月期 4-12月期			2021年3月期 4-12月期			増減	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
欧州	1,621	38%	66	1,373	39%	24	△248	△42
アジア	1,468	35%	111	1,229	34%	83	△239	△28
米州	1,160	27%	70	961	27%	42	△199	△28
その他 *	9	0%	△67	11	0%	△69	2	△2
合計	4,258	100%	180	3,574	100%	80	△684	△100

* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

為替レート

期中平均レート

	2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
英ポンド	149	147	146	146	141	137	138	138	133	135	136
ユーロ	131	130	129	129	124	121	121	121	118	121	123
米ドル	110	111	111	111	109	109	109	109	107	106	106
ブラジル・リアル	30.4	29.3	29.3	29.4	28.0	27.6	27.2	26.4	19.9	19.8	19.7
アルゼンチン・ペソ	4.70	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用									

期末レート

	2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
英ポンド	145	148	141	144	137	133	144	133	132	135	141
ユーロ	128	132	127	124	123	118	122	119	121	124	127
米ドル	111	113	111	111	108	108	109	108	107	105	103
ブラジル・リアル	28.6	28.2	28.5	28.3	28.3	26.0	27.1	20.8	19.9	18.7	19.8
アルゼンチン・ペソ	3.94	2.84	2.93	2.53	2.53	1.88	1.82	1.68	1.53	1.38	1.22

為替感応度

他の前提に変動がない条件で、為替レートが他の通貨に対して1%円高になった場合の影響額

	2019年3月期	2020年3月期
資本	33.0億円の減少	31.0億円の減少
当期利益/(損失)	[当期利益] 2.0億円の減少	[当期損失] 1.0億円の改善

減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2020年3月期 4-12月期	2021年3月期 4-12月期	2021年3月期 見通し
減価償却費	258	263	370
資本的支出	461	256	370
通常投資	172	97	
戦略投資、他	289	159	
研究開発費	69	66	90
建築用ガラス事業	20	18	
自動車用ガラス事業	19	18	
高機能ガラス事業	7	7	
その他	23	23	

NSG

GROUP